

日本ジオパーク全国大会 十勝岳大会 レポート

佐々木和恵

9月27日（土）1日目

☆分科会 「目指せ1ジオパーク1ユニバーサルデザインコース

～すべての人が楽しく地球と触れ合えるモデルコースを作ろう～」に参加。

・ユニバーサルデザインとは何かをおさらい、それとジオパークの理念からユニバーサルデザインとの関係性について説明があった。

多様な地球活動により、多様な人が地球上に生活。「地球と共生する持続可能な社会」を実現し、「みんなが心地よく生活できる空間を作る」地球は「ユニバーサルデザイン」そのものだと伝えていた。

○ガイドとUD 丸橋さん発表

「ガイドを受ける人のために」→多様な顧客を生み出せる

「ガイドをする人のために」→みんながガイドになるためには？地域で輝ける人が増えるのでは？と、の両面でのユニバーサルデザインについて提言。

両方の視点をとおして「新たなツアーが生み出せる」と伝えていた。

これについて、私は「ガイドを受ける人」は有りだが、「ガイドをする人」という捉え方は全くなく、出来ないと思っていたのでそんな世の中になつたら面白いし、例えば視覚、聴覚障がい者の方はどんなガイドができるのか。と、そんなことを考えることも「ユニバーサルデザイン」なんだと違う意識を持てる気がした。

○アウトドア観光における共生モデルの研究 山口大学発表

アウトドア観光では、活動的なアドベンチャー層からライト層までツーリストの研究が進められてきたが、それらは健常者を前提としたものがほとんどで、高齢者や障がい者は対象ではなかった。

アウトドア観光の情報提供をすることで、障がい者の方がそこへ観光に行く「準備」「挑戦への準備」ができることに繋がる。

段差、斜度、休憩場所、トイレの情報は大事だと思う。

また、コースの動画配信について伝えていたが、一番わかりやすく情報提供の仕方としてはとても優しいと思う。

家族や友達と安心して一緒に楽しむ環境はその方の生き甲斐にもつながると感じた。

○アンケート（高齢者、車いす向けのコースに関するアンケート）

・24パークから回答された。

「ビジターセンターなどから同行者が車いすをサポートして1時間以内で帰ってこれるコースが作れるか」

というところで、私は「ロープウェイのコースの話をしてほしい」とお願いされた。他の地域の話もあった中で、私は依頼のあった説明をしたうえで「私は行けないと思っていたコースが、実は可能であると考えている」と、金比羅火口災害遺構散策路の話と、自分の始めた活動から「ユニバーサルデザイン」について考えていることも話をさせていただいた。それについて「一緒に考えて行きましょう」と言ってもらったり、名刺をいただいて「これからも繋がりをつくりたい」と言ってくださる方もいたので、余計なことだとは思ったが、話してよかったと自己満足をしている。

2日目 9月28日（日）

☆ポスター発表

実は、分科会が目的での全国大会参加で、その日のうちに帰る予定であったが、ポスター発表を勧めていただき、挑戦することになった。

題名は「防災ユニバーサルデザインチームの立ち上げとそのねらい～心に寄り添う防災を目指して～」という名前を付けた。

ネットワークで購入した JINRIKI の活動をイメージされた方もいたが、車椅子 JINRIKI の活動はまだスタートしたばかりなので、それを発表するには早すぎるとも思った。

それについては「防災ユニバーサルデザインチーム」のメンバーが活動のまとめや整理もできると考え来年度以降にメンバーが考えて作った方が良いものが出来ると思っているので、先ずは「なぜ防災ユニバーサルデザインを考えたのか」「なぜチームを作り、どのように活動をしていくのか」を発表し、今後につなげていこうとの思いから、私個人の発表とさせてもらった。

正直、ポスター発表はガイドや保全、防災でも研究のものが多く、私のポスターに足を止める人は少ないとと思っていた。

予想通り多くはなかったが、見てくれる人は熱心に話を聴いてくれて、ご自分の考えも話してくれた。

隣で出していた方は、震災のあった釜石の生徒を連れて洞爺湖に来て、火山マイスターに案内してもらったと教えてくれた。

現在その学校では、「防災の話の中に福祉についても調べることを始めたので、私のことを釜石に紹介させてもらいたい、北海道に行ったときは是非防災ユニバーサルデザインのはなしをしてもらいたい」と名刺を2枚もらってくれた。

私が「私のポスターにはあまり人は来ないと思っている」と正直な思いを話すと首を横に振って「大事なことです。見てる人はちゃんと見てますから」と言ってくれた。

分科会でも、ポスター発表でも背中を押してくれる人、応援してくれる人がいることにとても有難く、勇気をもらえた全国大会となった。

他の人のポスターも見ることができ、いろいろ作り方やデザインがあり勉強になった。

その他、洞爺湖有珠山ジオパークの仲間や伊達開来高校の生徒の研究発表等、いろんな場所で活躍を目にすることことができた。

学びと、楽しみといろんな経験ができ、今後の活動に活かしていきたい。